

バイオマスタウン構想分析DB

[【リンク】七宗町](#)

公表回	公表年月日	構想見直し		都道府県名	市町村名	人口	面積
		公表回	公表年月日			(人)	(km ²)
46	2011.03.31			岐阜県	七宗町	4,913	90.47
構想の要約		七宗町は、「東濃ひのき」の主産地であり、林地残材などの木質バイオマスが豊富に存在するが、現状では利用率が低いため、まずは小規模ながらも、できるだけ低コストで林地残材を集材・出材するしくみをつくり、将来的には、燃料製造および地域内熱供給といったエネルギーの地産地消を図る。このことにより、山林等の環境の保全、農林業の振興、地域経済の活性化、交流人口の拡大をめざす。					
構想に盛り込まれた事業		①木質バイオマス燃料の利用促進 ③もみ殻の土壌改良材化 ④稲わらの堆肥化、飼料化の検討 ⑤生ごみ堆肥化の促進					
バイオマス利活用目標		添付別紙参照					
バイオマスタウン構想概要図		添付別紙参照					

利用するバイオマス					
廃棄物系バイオマス		未利用バイオマス		資源作物	
家畜排せつ物	○	稲わら・もみがらなど	○	資源作物	
農業系廃棄物(廃菌床など)		野菜等非食部			
食品廃棄物	○	間伐材・林地残材	○		
廃食用油		果樹剪定枝			
水産加工残さ		竹材			
製材工場等残材	○	その他			
建設発生木材	○				
街路樹・公園・家庭剪定枝、刈草					
古紙・廃棄紙	○				
下水汚泥など	○				
その他()					

利用するバイオマス変換技術			
マテリアル利用のための変換技術		エネルギー利用のための変換技術	
堆肥化(土壌改良材・肥料を含む)	○	バイオガス化(メタン発酵)	
飼料化	○	直接燃焼	
バイオマスプラスチック製造		ガス化	
その他(パルプ原料、建築資材)		炭化	
		固形燃料化(チップ・ペレット・RDFなど)	○
		バイオディーゼル燃料化	
		バイオエタノール化	
		その他()	

バイオマスタウン実現に向けた取組の進捗状況	
記入年月日	記事
2011.03.31	2011.03.31バイオマスタウン構想公表

実現した事業	添付別紙参照
--------	--------

バイオマス利活用目標
(バイオマスタウン構想書からコピー)

バイオマスの種類	賦存量		利活用現状			利活用目標					
	湿潤重量 (t/年)	炭素換算 (t/年)	利活用方法	湿潤重量 (t/年)	炭素換算 (t/年)	利用率	利活用方向	湿潤重量 (t/年)	炭素換算 (t/年)	利用率	
(廃棄物系バイオマス)											
家畜排せつ物	肉用牛ふん尿	7	0.4	堆肥化	7	0.4	100.0%	堆肥化	7	0.4	100.0%
	養豚	1,437	85.7	堆肥化	1,437	85.7	100.0%	堆肥化	1,437	85.7	100.0%
	鶏ふん (採卵鶏)	102	6.1	堆肥化	102	6.1	100.0%	堆肥化	102	6.1	100.0%
廃棄紙	古紙	83	28.9	再利用	83	28.9	100.0%	再利用	83	28.9	100.0%
木質バイオマス	木くず・パーク	96	21.4	パルプ原料	96	21.4	100.0%	パルプ原料	96	21.4	100.0%
	おが粉	15	3.4	(焼却処分)	0	0.0	0.0%	燃料	15	3.4	100.0%
	新・増築廃材	19	8.4	パルプ原料	19	8.4	100.0%	パルプ原料	19	8.4	100.0%
食品廃棄物(厨芥類)		177	7.8	堆肥化	8	0.4	5.1%	堆肥化	15	0.7	9.0%
汚泥等	浄化槽汚泥	42	16.2	助燃材、堆肥化	42	16.2	100.0%	助燃材、堆肥化	42	16.2	100.0%
	し尿汚泥	11	4.4	助燃材、堆肥化	11	4.4	100.0%	助燃材、堆肥化	11	4.4	100.0%
	下水道汚泥	15	5.9	助燃材、堆肥化	15	5.9	100.0%	助燃材、堆肥化	15	5.9	100.0%
小計		2,005	188.5	-	1,821	177.7	94.3%	-	1,843	181.4	96.2%
(未利用バイオマス)											
農業系資源	稲わら	459	131.4	すき込み*	0	0.0	0.0%	家畜飼料、堆肥化	0.5	0.1	0.1%
	もみ殻	105	29.9	くん炭	11	3.1	10.4%	くん炭	11	3.3	11.0%
木質バイオマス	林地残材	4,865	1224.2	建築材、合板材	1,141	287.0	23.4%	建築材、合板材、燃料	2,190	551.0	45.0%
小計		5,429	1385.5	-	1,152	290.1	20.9%	-	2,202	554.4	40.0%
合計		7,434	1574.0	-	2,972	467.8	29.7%	-	4,045	735.8	46.7%

* すき込みについては、利活用とみなさない。

**本表では、端数処理した値を表記しているため、これらの計算結果と合計欄及び利用率に表記されている値が必ずしも合わない場合がある。

バイオマスタウン構想概要図

(バイオマスタウン構想書からコピー)

② 木質バイオマス燃料を用いた事業展開

前述のしくみにより収集した木質バイオマスを燃料化し、エネルギーとして公共施設や家庭などで利用することにより、エネルギーの地産地消を図る。また、将来的には合住宅や温室（農産物栽培）への熱供給や栽培された農産物の販売などを検討する。

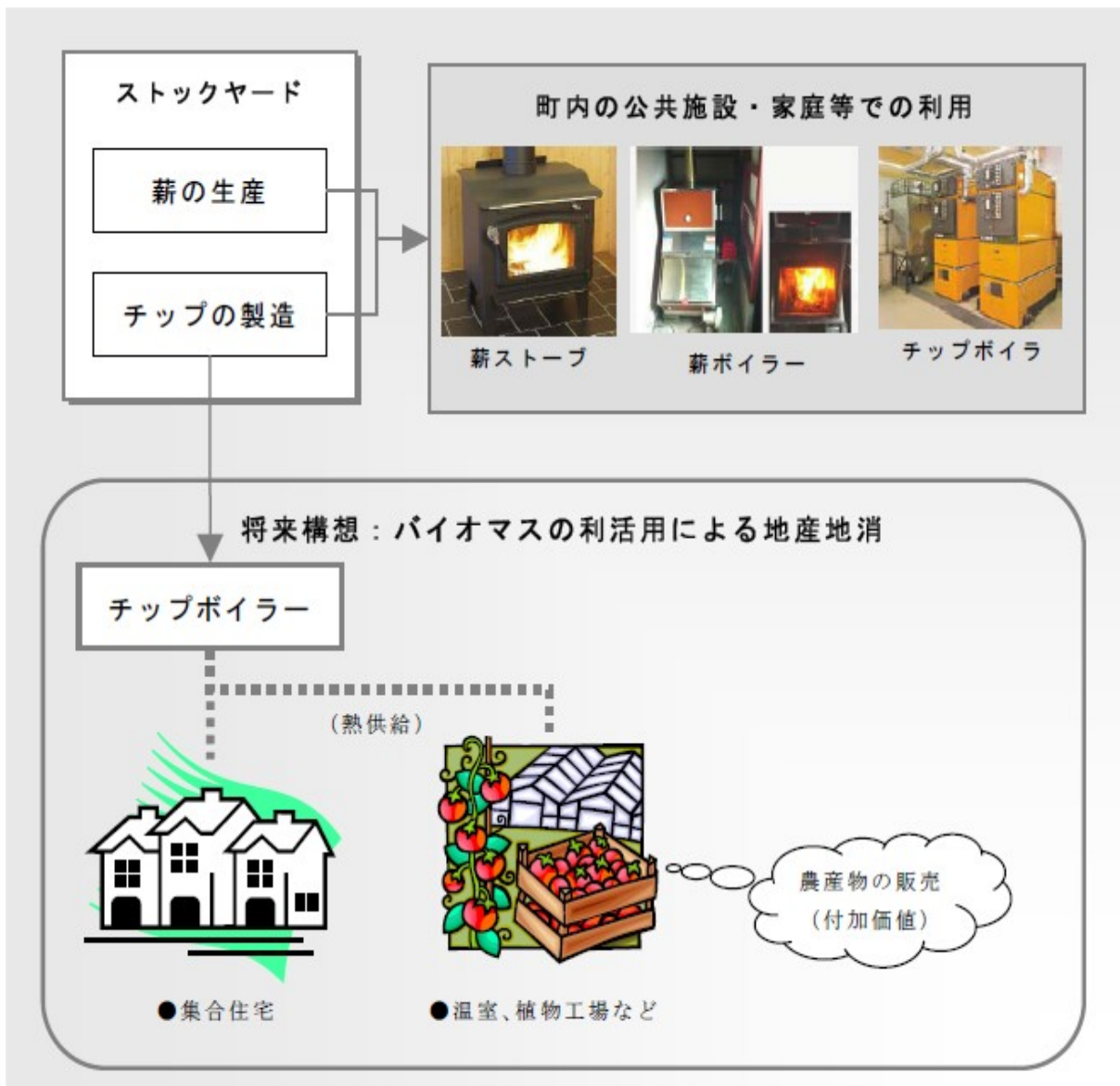


図7 木質バイオマス燃料を用いた事業展開の将来構想

実現した事業(その1)

事業の名称	
事業者名	
事業所名	
住所(施設の所在地)	
利用するバイオマス	
利用する変換技術	

事業の概要	添付別紙(パンフレット等)参照
	(事業形態、事業構成メンバー、出資比率、事業開始時期、施設の概要、プラントメーカー、建設業者、インシヤルコスト、ランニングコスト、原料単価、製品単価、経営状況、事業運営の課題、成功・失敗要因など記入)